

令和 6 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科： 地理歴史科

科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A組 前原 綾子	B組 前原 綾子	C組 前原 綾子	D組 前原 綾子	E組 前原 綾子	F組 前原 綾子	G組 前原 綾子
使用教科書：	高等学校 新地理総合（帝国書院）						

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて精進したりする力やそれらをもとに議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史にかかわる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や防災への取り組みなどを理解するとともに調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを考察したり議論したりする力を養う。	地理にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域を尊重することの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 地図と地理情報システム	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	世界の主な事象がどこでみられるのかを理解することができる。	地球の特徴と地図の役割について	世界の主な事象と地図の用途が理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	地図を使い分け、その事象が起こる原因を考察することができる。	プリント	地図から世界の主な事象の発生原因が説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	地図の新たな活用方法を考えることができる。	適宜	様々な地図を組み合わせで新たな情報を入手することができるか。				
	単 元 2 結びつきを深める現代社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	世界の国々がどのように連携・協力しているのかを理解することができる。	国家の定義と主な経済協定について	国家が成り立つ要素と世界の主要な経済協定が理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	国際社会における様々な動きがどのように変化しているのかを考察することができる。	プリント	それぞれの経済協定を結ぶ意図が説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	国家間がより良い相互関係を築くために必要なことについて考えることができる。	適宜	今ある国際問題を解決するために取り組むべきことを考えられているか。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 3 世界の地形と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	それぞれの地域の地形の特徴を理解することができる。	地形の安定と変動について	狭まる境界と広がる境界の違いが理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	それぞれの地形が人々の暮らしに与えている影響を考察することができる。	プリント	地形の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	それぞれの地形の欠点を補うためにすべきことを考えることができる。	適宜	その地形がある場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられているか。				
	単 元 4 世界の気候と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	それぞれの地域の気候の特徴を理解することができる。	ケッペンの気候区分について	それぞれの地域がどの気候区分に属しているかを理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	11
	それぞれの気候が人々の暮らしに与えている影響を考察することができる。	プリント	気候の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	それぞれの気候の欠点を補うためにすべきことを考えることができる。	適宜	その気候の場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられているか。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度

年間授業計画

教科

地理歴史科

科目

地理総合

教科： 地理歴史科

科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A組 前原 綾子	B組 前原 綾子	C組 前原 綾子	D組 前原 綾子	E組 前原 綾子	F組 前原 綾子	G組 前原 綾子
使用教科書：	高等学校 新地理総合（帝国書院）						

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて精進したりする力やそれらをもとに議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史にかかわる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や防災への取り組みなどを理解するとともに調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを考察したり議論したりする力を養う。	地理にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域を尊重することの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 世界の言語・宗教と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	それぞれの地域の言語・宗教の歴史を理解することができる。	世界の公用語と宗教の分布について	その国の公用語と植民地との関係が理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	それぞれの言語・宗教が人々の暮らしとどのようにかかわっているかを考察することができる。	プリント	それぞれの宗教の特徴を説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	人種や宗教による差別、対立をなくすためにすべきことを考えることができる。	適宜	現在の紛争が起こった経緯を踏まえ、その解決方法を自分なりに考えられているか。				
	単 元 6 歴史的背景と私たちの生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	現在の世界情勢に至った経緯を理解することができる。	旧植民地と旧宗主国との関係について	旧植民地が旧宗主国に依存しているものについてそれぞれ理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	9
	それぞれの歴史的背景が現在の人々の暮らしに与えている影響を考察することができる。	プリント	旧植民地がどういった歴史的背景で植民地となったかを説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	過去の惨禍を現代に残さないためにすべきことを考えることができる。	適宜	戦争を繰り返さないために自分たちがすべきことを考えられているか。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 7 世界の産業と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	それぞれの地域の産業の特徴を理解することができる。	世界の農業と工業の発展について	それぞれの地域で盛んな農作物、工業製品が理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	それぞれの産業が人々の暮らしに与えている影響を考察することができる。	プリント	それぞれの地域で盛んな農作物について地形や気候と結び付けて説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	輸入に頼らない国内産業を維持するために何が必要かを考えることができる。	適宜	日本の食料自給率を上げるためにすべきことを考えられているか。				
	単 元 8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科： 地理歴史科

科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A組 前原 綾子	B組 前原 綾子	C組 前原 綾子	D組 前原 綾子	E組 前原 綾子	F組 前原 綾子	G組 前原 綾子
使用教科書：	高等学校 新地理総合（帝国書院）						

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて精進したりする力やそれらをもとに議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史にかかわる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や防災への取り組みなどを理解するとともに調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを考察したり議論したりする力を養う。	地理にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域を尊重することの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 地球の課題と国際協力	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	現在地球が抱えている国際問題を理解することができる。	地球環境問題とSDGsについて	地球環境問題が自分たちに与える影響について理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	それぞれの問題が各国に与えている影響について考察することができる。	プリント	SDGsを定めた意図を説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	その問題を解決するために取り組むべきことを考えることができる。	適宜	地球環境問題を解決するために実践すべきことを考えられているか。				
	単 元 10 自然環境と防災	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	自然災害の規模や頻度、備えや対応の必要性を理解することができる。	自然環境と防災	自然災害の規模や頻度、備えや対応の重要性を理解できているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察することができる。	プリント	自然災害への備えや対応を説明できているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	自然災害や防災についての課題を主体的に考えることができる。	適宜					
	単 元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						